

最優秀賞

人との出会い

江府中学校 3年 梅林 優衣

私は自分が嫌いでした。中学校一年生になってますます自分が嫌いになりました。小学校の頃は、いろいろな人から「優しいね。」「大人しいね」などと言われていました。他の友達みたいにキャーキャー騒いだりせず、その場にただいるだけでした。大人しくなったことには理由があります。

私は保育園に入園した頃は、素の自分を出して生活していました。でも、先生にすごく怒られ、いい子にしていようと心に決め、怒られないよう大人しく生きるようになりました。「なぜ、それだけで？」と思う人もいるかもしれませんが、すごく厳しく怒られたのは、あの日が初めてでした。それからずっと私は大人しく生きてきました。

しかし、中学校に入学し、吹奏楽部に入部し、注意されたり怒られたりするのが当たり前の日々になりました。私は不器用で理解するのが遅く、毎日のように先輩に怒られ、自分のことが大嫌いになりました。「何で皆はできるのに自分はできないのか。」情けなく思えました。クラスでの時間が楽しくて、放課後が近づくたびに暗い気持ちになりました。自分の周りには敵しかいないような気分でした。でも、思っていることをはっきりといえる先輩のようになりたいくて、自分を変えていこうと素の自分を出していきました。素の自分を出すことには勇気がいりました。でも、やってみると、部活でもクラスでも意外なくらい受け入れてもらえました。そして、すごく嫌だった部活が今ではとても楽しいです。

今でも、自分の嫌いな所はまだありますが、厳しく指導してくださった先輩に出会えなかったら、思っていることをはっきりと言えず、素の自分を隠し続ける人になっていたと思います。

今、私は部活の中で最上級生です。先輩として、後輩に対してダメなことはダメだといいますが、時には後輩に遠慮して、思っていることをはっきり言えないことがまだまだあります。だから、私ももっと成長し、いつか誰かを変えられるような人になっていきたいです。